



平成5年第1回市議会臨時会が2月9日に開かれ、会期1日の日程で上程議案の審議を行いました。市長改選後、初の議会に臨んだ竹内市長は6つの重点施策など、就任に当たっての決意を述べ、議会をはじめ市民に対し、理解と協力を求めました。

新たな発想と行動で、開かれた行政を推進

就任に当たって

白根市長 竹内 正

平成五年第一回市議会臨時会の開催に当たり、市長就任のごあいさつを申し述べ、機会を得ましたことは、大変光栄に存じます。

私は去る一月十七日に行われた市長選挙におきまして、市民各位をはじめ、各方面からの力強いご支援と温かいご厚情を賜り、初当選の栄誉を与えていただき、一月二十七日、市長に就任いたしました。ここに重ねて、心から厚くお礼申し上げますとともに、深く感謝を申し上げます。

この度の選挙を通じて、市民各位に接し、生の声をお聞きし、市長という重責を担うとき、改めて身の引き締まる思いがいたします。さて二十一世紀を間近に控え、高齢化、情報化、国際化の潮流は、一層その流れを速めております。また、環日本海時代を迎え、白根市は新潟地域広域圏の中で大きな期待が寄せられていることから、これまで以上に大きなビジョンに基づいたまちづくりが必要となってきております。

6つの重点施策でいきいき白根を

こうしたまちづくりの計画立案に当たっては、単に行政機関内部の取り組みだけでなく、広く市民

参加を求め、地域の知恵と情報をお借りすることはもちろんのこと、これまで先人がはぐくんできた伝統・文化を大切に、それを礎として新たな発想と行動によって「いきいきとした白根」をつくってきたいと考えております。

そのため私は、次の六つの重点施策を考えております。まず第一は、市民の意見を尊重した開かれた行政の推進。第二は、医療機関と行政が一体化した福祉と健康づくりの推進。第三は、ゆとりある個性豊かな教育、人づくりの推進。第四は、文化・スポーツの振興を図り、心豊かな文化都市の建設。第五にフルーツ・フラワーライン構想を確立した、攻めの農業の推進。第六に産業の活性化と併せて都市基盤の整備を進め、にぎわいのあるまちづくりであります。

これらのことは財政的・制度上の制約などから一朝にして実現できるものではありませんが、議員の皆様をはじめ市民各位の英知を結集し、一丸となって目標に向かって行動するならば、必ずや実現できるものと確信いたしております。特に開かれた行政につきましては、その一環として、私自身も含め、市民の声を真剣に聞き、たとえそれが実行可能、不可能であろうとも、誠意を持って対応していきたいと職員に伝えてあります。また、職員からの企画・提案を積極的に取り入れるなど、市民の幸せと白

可決された議案など

●白根市認可地縁団体印鑑条例の制定

地方自治法の改正により、市長の認可を受けた町内会など(認可地縁団体)の名義で不動産登記などができるようになりました。このため、その団体の代表者などの印鑑登録、証明について、必要な事項を定めるものです。

●功績と労苦をたたえる決議

滝沢前市長の二期八周年にわたる功績と労苦をたたえる決議が議員発議で提案され、満場一致で決議されました。

新総合計画の策定に着手

根市発展のために常に対話を忘れず、ともに汗を流してまいりたいと考えております。

現在白根市には、個々の事業として特別養護老人ホームの早期建設をはじめ、白井・庄瀬小学校の建設、道路・公園・下水道などの都市施設の整備、一段と厳しい環境下にあります農業の振興など、課題は山積しております。これら多くの課題は、個々に対処するよりも行政全般にわたる総合的な計画を策定し、対応していく必要がございます。

折しも、現在の第三次総合計画

は、あと三カ年余りでの目標年次を迎えます。このことから、平成五年度から同計画の実績を精査し、その結果を踏まえる中で、二十一世紀における白根市のあるべき姿を具現化した新たな総合計画の策定に着手したいと考えております。また、この新しい総合計画をより実り多きものにするため、組織機構の見直しも併せて進めたい所存であります。

ここに改めて、私をはじめ全職員が一致協力して市民の信頼、要望にこたえてまいりたいことをお誓い申し上げます。併せて議員各位の皆様方のご指導とご協力を始め、市民各位のご支援を心からお願ひ申し上げます。就任のごあいさつといたします。



退任に 当たって

前市長 滝沢昌三

今回の選挙戦では、大変多くの方々のご期待に添えなかったことをおわび申し上げます。

8年間にわたる在任期間中は、さまざまな仕事をさせていただき、21世紀に向けた大きなプロジェクトの展開が期待できるような種まきも終わらせていただきました。これまでの市民の皆様のご厚情に対し、厚くお礼申し上げます。

第3代市長として就任させていただきました当時、白根市は全国の市の中でワースト2といわれるほど財政的に窮乏しておりました。そのため、3年間職員の欠員補充をせずに行政運営を余儀なくされたという、苦い経験がございます。しかしその間、ほ場整備関連の農道舗装、北部工業団地の用地買収、企業誘致などを行うことができました。お陰を持ち、道路の舗装率では20市中4番目の84%という高い率を示し、北部工業団地は雇用の増大、財政力の浮揚に大きく貢献しました。

また、就任の翌年には第3次総合計画を作成し、白根市の個性と特色を生かした活力ある都市づくりを推進してまいりました。さらに教育環境の整備にも力を注ぎ、昨年4月には北中学校の開校にこぎつけることができました。懸案となっておりました白井・戸石両小学校の統合も、ようやく実現の運びとなっております。

市政30周年記念事業として建設いたしましたカルチャーセンターは2年6月のオープン以来、30万人の利用客を迎えております。しかも従来までは考えられなかった国内外の一流のスポーツ、文化行事を誘致することができました。

これまで取り組んでまいりました各種のプロジェクトによって、白根市も基礎体力が付き、人口の増加も見違えるようになりました。これからの白根市の可能性、潜在的な能力には非常に大きなものがあります。環日本海といわれる新しい時代を目指し、白根市が新潟市の中核的な衛星都市として、また白根ブロックの中核として発展していくためには、都市機能のさらなる充実が必要になってまいります。

新市長には創造性と英知を結集して建設的な発展を期していただくよう、心からご期待を申し上げます。市民の皆様のご健康とご繁栄を衷心よりご祈念申し上げます。私のお礼のごあいさつとさせていただきます。